合同会社 SHIP　研修パッケージ No.2

ナッジと行動経済学　実践研修

「伝える」だけでなく、「行動につながる」保健事業へ。

自治体・保険者・企業等の保健事業担当者を対象に、行動経済学とナッジの基礎から実際の活用までを学ぶ実践型研修です。受診勧奨通知等のマテリアルや保健事業を題材に、評価と改善を体験します。

研修で目指すこと

行動の背景を理解し、ナッジの視点から保健事業の課題を捉え、現場で使える改善案を自ら考えられるようになることを目指します。

01　学ぶ	02　見直す	03　改善する
行動経済学とナッジの基本原理を理解	通知文・チラシ等をチェックリストで評価	受診勧奨通知や保健事業を具体的に改善

この研修の 3 つの特長

- **保健事業に特化した内容**　特定健診や保健指導など、身近な保健事業への応用を中心に学びます。
- **実際のマテリアルを改善**　受診勧奨通知や案内文等をチェックリストで評価し、改善案を作成します。
- **講義＋ワーク＋発表**　受講者同士の検討・発表を通じ、実行可能な改善のアイデアを深めます。

選べる研修プラン

全 3 回コース｜計 7.5 時間	単回コース｜2 時間／3 時間
1 回 2.5 時間の段階的な学習。基礎からマテリアルの改善、保健事業の改善まで実践。	ナッジの基礎を短時間で学び、ワークで保健事業への応用を体験。目的に応じて選択可能。

対象：自治体、国保・健保等の保険者、企業などで保健事業に従事する方

主な講師

福田 吉治　帝京大学大学院公衆衛生学研究科教授、合同会社 SHIP 代表、医師

国保中央会国保・後期高齢者ヘルスサポート事業運営委員会委員、東京都・埼玉県国民健康保険組合団体連合会保健事業支援評価委員会委員、著書に「国保のデータヘルス計画策定・推進ガイド 第 3 期版」。

杉本 九実　帝京大学大学院公衆衛生学研究科助教、株式会社 PONO 代表取締役、保健師

東京都国民健康保険組合団体連合会保健事業支援評価委員会委員、著書に「ナッジを応用した保健事業実践 BOOK」など。

合同会社 SHIP　研修パッケージ No.2

全 3 回コース｜1 回 150 分 × 3 回（合計 7.5 時間）

講義、グループワーク、発表を組み合わせて実践力を高めます。

第 1 回　基礎を理解し、応用を考える

・講　義｜ナッジと行動経済学の基礎［45 分］

・講　義｜ナッジと行動経済学の保健事業への応用［45 分］

・ワーク｜ナッジの保健事業への応用：総論［50 分］

・まとめ・質疑応答［10 分］

第 2 回　マテリアルを評価・改善する

・講　義｜ナッジのマテリアルへの応用［45 分］

・ワーク｜チェックリストを用いたマテリアルの評価［30 分］

・ワーク｜マテリアルの改善［45 分］

・発表・質疑応答・まとめ［30 分］　※課題あり

第 3 回　保健事業を改善する

・第 2 回の振り返り［20 分］

・講　義｜ナッジの保健事業への応用［40 分］

・ワーク｜保健事業の改善［60 分］

・発表・質疑応答・まとめ［30 分］

単回プログラム

2 時間コース｜120 分	3 時間コース｜180 分
・ 講義｜ナッジと行動経済学の基礎と保健事業への応用［60 分］ ・ ワーク｜ナッジの保健事業への応用の実際［50 分］ ・ まとめ・質疑応答［10 分］	・ 講義｜ナッジと行動経済学の基礎と保健事業への応用［60 分］ ・ ワーク 1｜ナッジの保健事業への応用 1（発表・質疑含む）［50 分］ ・ ワーク 2｜ナッジの保健事業への応用 2（発表・質疑含む）［60 分］ ・ まとめ・質疑応答［10 分］

導入・ご相談について

ご希望の保健事業やマテリアルに合わせて、ワークの題材・進め方を調整できます。実施方法、日程、費用等は個別にご相談ください。

お問い合わせ先：合同会社 SHIP

URL：https://1ship.jp　E-mail: toiawase@1ship.jp